hirosaki
[広報ひろさき]
2016 2/1 No.239

冬の岩木山で、雪と友達になろう！

第４回岩木山スキーフェスティバル

雪国ならではのスポーツ、クロスカントリースキーの体験やクロスカントリースキースプリントレース大会などで、岩木山の冬を楽しみましょう。スキーを持っていない人には無料で貸し出します。豪華景品が当たる大抽選会も開催しますので、気軽にご参加ください。

▽**とき**　２月21日（日）、午前９時～午後３時（予定）
▽**ところ**　岩木青少年スポーツセンター（常盤野字湯段蒔）
▽**内容**　①クロスカントリースキースプリントレース／②クロスカントリースキーの体験・講習会、スノーフラッグ、人間ばんば、ニュースポーツ体験コーナー、バナナボート体験コーナー

※①は事前の申し込みが必要。②は自由参加。
※歩くスキー講習会、クロスカントリースキースプリントレース、スノーフラッグ、人間ばんば、ニュースポーツ体験コーナーの参加者に抽選券を差し上げます。
▽**参加料**　①300円（②は無料）
▽**申し込み方法**　申込用紙に必要事項を記入し、文化スポーツ振興課（市役所２階、窓口253）へ提出を（ファクス可）。
※申込用紙は市役所や各体育施設などに備え付けているほか、市ホームページに掲載しています。
■**問い合わせ・申込先**　文化スポーツ振興課（☎40・7115、ファクス35・7956）

ようこそ！ヒロハクへ ～いのっちの博物館レポート⑤～

歴史はドラマだ

市立博物館では、現在、企画展「陸羯南とその時代」を開催しています。この展覧会は、昨年夏に横浜の日本新聞博物館で開催された展覧会『孤高の新聞「日本」－羯南、子規らの格闘』の巡回展であり、同時に弘前展独自の資料も展示しています。また、昨年から今年にかけて、郷土文学館で「陸羯南展」を開催していたことを市民の皆さんはご記憶のことと思います。横浜の展覧会を、あるいは郷土文学館の「陸羯南展」を見たからヒロハクなんかいらない？　いえいえ、ぜひご覧ください。展覧会の切り口の違いが、館の性格を表しています。新聞博物館と郷土文学館は、陸羯南という主人公にカメラを密着させるやり方でした。では、ヒロハクではどう見せるか…。主人公は、明治の言論人。藩閥政府の心胆を寒からしめた硬骨のジャーナリスト。よし、大河ドラマだ。

市立博物館は歴史の登録博物館です。これがヒロハクの基本的な性格です。ですから、人物の背後に歴史の流れを感じてほしい。その思いを胸に、弘前の町で生まれた１人の少年にカメラを向けます。彼は、文字通り自分の足で弘前から歩き出す。鉄道の開業はまだ先です。歩き、友と出会い、仲間を作り、決して屈せず、正しいと思うことを発言し続けました。時代と格闘した陸羯南の生涯を追うなら、時代背景も語らなければなりません。弘前の町も大きく変わりました。

会場では、明治４年の住宅地図（ただし、士族の居宅のみ。複製）を間近にご覧いただけます。明治26年の地図は、125枚ものイラストで当時の商家を描いています。見比べると、例えば現在の吉野町緑地が、明治４年の楠美晩翠宅と畑から、明治26年には楠美菜果園となってリンゴを栽培し、大正５年には今に残る煉瓦倉庫に変わっているのが分かります。この弘前の町でも、さまざまなドラマが演じられていたのです。ヒロハクで、熱い歴史ドラマを体感してください。

▲明治４年の地図（陸羯南生家付近）

企画展「陸羯南とその時代」記念講演会

▽**とき**　２月13日（土）、午後１時半～３時半
▽**ところ**　市立博物館（下白銀町）ホール
▽**演題**　①「青年羯南の帰郷（仮）」…講師・舘田勝弘さん（陸羯南会会長）／②「羯南ゆかりの青森県人（仮）」…講師・松田修一さん（東奥日報社編集委員室室長）
▽**参加料**　無料（別途観覧料が必要）
※事前の申し込みは不要。

■**問い合わせ先**　市立博物館（☎35・0700）

VEGETABLE OIL INK
広報ひろさきは環境にやさしいインキを使用しています。

■編集発行　弘前市経営戦略部広聴広報課　〒036-8551　弘前市大字上白銀町1-1　☎35・1111　ファクス35・0080
■ホームページ　http://www.city.hirosaki.aomori.jp/　■公式フェイスブック　https://www.facebook.com/hirosakicity
※「広報ひろさき」は録音版も発行しています。ご希望の人は広聴広報課までお知らせください。